

役員・委員長・倫理委員会委員等のCOI自己申告書

(算出期間：20 .1.1～20 .12.31)

*A、Bは就任時の前年から過去3年間の内容を、Cは過去5年の内容を申告してください。

日本小児神経学会理事長 殿

申告者氏名(日本小児神経学会 会員番号): ()

所属(機関・教室/診療科)・職名: _____

本学会での役職名:

理事長 理事 監事 学術集会会長 学術集会次期会長 プログラム委員会委員 作業部会 学会従業員

各種委員会(委員会等名): 委員長 委員

診療ガイドライン策定に関わる委員会(委員会等名):

委員長 委員 システムチックレビューチーム

委員会等の追加、その他の内容があれば、下記にご記入ください

(

<留意事項> 申告事項が全くない場合、以下の記載項目 A ~ D のすべての項目冒頭の「すべて申告事項なし」に必ず✓を入れてご提出ください。

A. 申告者自身の申告事項

すべて申告事項なし: こちらに✓をお付けの場合下記項目の記入は必要ございません。

申告事項あり: 下記の該当項目にご記入ください。無い項目には「無」に✓を付けてください。

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額 有 ・ 無

(1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載)

	企業・団体名	役職(役員・顧問等)	金額区分	年
1				
2				
3				

金額区分: ①100万円以上 ②500万円以上 ③1000万円以上

2. 株式の保有と、その株式から得られる利益(1年間の本株式による利益) 有 ・ 無

(1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該全株式の5%以上保有のものを記載)

	企業名	持ち株数	申告時の株値(一株あたり)	金額区分	年
1					
2					

金額区分: ①100万円以上 ②500万円以上 ③1000万円以上

3. 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬 有 ・ 無

(1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載)

	企業・団体名	特許名	金額区分	年

1			
2			

金額区分：①100万円以上 ②500万円以上 ③1000万円以上

4. 企業や営利を目的とした団体より、会議の出席（発表，助言等）に対し，研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当，講演料等の報酬 有 ・ 無

（1つの企業・団体からの講演料が年間合計50万円以上のものを記載）

	企業・団体名	金額区分	年
1			
2			
3			
4			
5			

金額区分：①50万円以上 ②100万円以上 ③200万円以上

5. 企業や営利を目的とした団体がパンフレット等の執筆に対して支払った原稿料 有 ・ 無

（1つの企業・団体からの講演料が年間合計50万円以上のものを記載）

	企業・団体名	金額区分	年
1			
2			
3			

金額区分：①50万円以上 ②100万円以上 ③200万円以上

6. 企業や営利を目的とした団体が契約に基づいて提供する研究費 有 ・ 無

（1つの企業・団体から，医学系研究（共同研究，受託研究，治験等）に対して，申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた年間100万円以上のものを記載）

	企業・団体名	研究費区分	金額区分	年
1				
2				
3				

研究費区分：①産学共同研究 ②受託研究 ③治験 ④その他

金額区分：①100万円以上 ②1000万円以上 ③2000万円以上

7. 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学（奨励）寄附金 有 ・ 無

（1つの企業・団体から，申告者個人または申告者が所属する講座・分野または研究室に対して，申告者が実質的に使途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載）

	企業・団体名	金額区分	年
1			
2			
3			
4			

5			
---	--	--	--

金額区分：①100万円以上 ②500万円以上 ③1000万円以上

8. 企業などが提供する寄附講座 有 ・ 無

(企業等からの寄附講座に所属している場合に記載)

	企業・団体名	寄附講座の名称	設置期間
1			
2			

*実質的に用途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載

9. その他の報酬 (研究とは直接に関係しない旅行、贈答品など) 有 ・ 無

(1つの企業・団体から受けた報酬が年間5万円以上のものを記載)

	企業・団体名	報酬内容	金額区分	年
1				
2				
3				

金額区分：①5万円以上 ②20万円以上

B. 申告者の配偶者、一親等内の親族、または収入・財産を共有する者の申告事項

該当する方の□に✓をお付けください。

すべて申告事項なし：こちらに✓をお付けの場合は下記項目の記入は必要ございません。

申告事項あり：下記の該当項目にご記入ください。無い項目には「無」に✓を付けてください。

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額 有 ・ 無

(1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載)

	該当者氏名		申告者との関係		年
	企業・団体名	持ち株数	役職(役員・顧問等)	金額区分	
1					
2					
3					

金額区分：①100万円以上 ②500万円以上 ③1000万円以上

2. 株式の保有と、その株式から得られる利益(1年間の本株式による利益) 有 ・ 無

(1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該全株式の5%以上保有のものを記載)

	該当者氏名		申告者との関係		年
	企業・団体名	持ち株数	申告時の株値(一株あたり)	金額区分	

1				
2				
3				

金額区分：①100万円以上 ②500万円以上 ③1000万円以上

3. 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬 有 ・ 無

(1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載)

	該当者氏名		申告者との関係		年
	企業・団体名	特許名	金額区分		
1					
2					
3					

金額区分：①100万円以上 ②500万円以上 ③1000万円以上

C. 過去5年以内に関連する企業あるいは営利を目的とする団体に所属した経歴

該当する方の□に✓をお付けください。

すべて申告事項なし：こちらに✓をお付けの場合は下記項目の記入は必要ございません。

申告事項あり：下記の該当項目にご記入ください。無い項目には「無」に✓を付けてください。

時期	企業名	役職名等

D. 申告者の所属する研究機関・部門（研究機関、病院、学部またはセンターなど）の長にかかる institutional COI 開示事項（申告者が所属研究機関・部門の長と過去に共同研究者、分担研究者の関係にあったか、あるいは現在ある場合に該当する）

該当する方の□に✓をお付けください。

すべて申告事項なし：こちらに✓をお付けの場合は下記項目の記入は必要ございません。

申告事項あり：下記の該当項目にご記入ください。無い項目には「無」に✓を付けてください。

1. 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費 有 ・ 無

(1つの企業・団体が契約に基づいて、申告者の医学系研究（助成研究、共同研究、受託研究など）に関連して、当該の長が過去3年以内に実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられたものを記載)

	申告者所属の長の職名・氏名	企業・団体名	研究費区分	金額区分
1				

2				
3				

研究費区分：①産学共同研究 ②受託研究 ③治験 ④その他

開示基準額 1000万円/企業/年 金額区分：① 1000万円≦ ② 2000万円≦ ③ 4000万円≦

2. 企業や営利を目的とした団体が提供する寄附金（有 ・ 無）

（1つの企業・営利団体から、申告者の研究に関連して、所属研究機関そのものあるいは、部門（病院、学部またはセンター、講座）の長に提供され、過去3年以内に実質的に使途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられたものを記載）

	企業・団体名	金額区分
1		
2		
3		
4		
5		

開示基準額 200万円/企業/年 金額区分：① 200万円≦ ② 1000万円≦ ③ 2000万円≦

3. その他（申告者が所属する研究機関そのもの、あるいは機関・部門の長が本学会の事業活動に関係する企業などの株式保有、特許使用料、あるいは投資など）（有 ・ 無）

（本学会の事業活動において影響を与える可能性が想定される場合に記載）

	所属機関、部門あるいはその長の職名・氏名	企業・団体名	研究費区分	コメント
1				
2				
3				

項目区分：①株式（5%以上） ②特許 ③投資（例、ベンチャー企業） ④その他

誓約：私の COI に関する状況は上記の通りであることに相違ありません。私の日本小児神経学会での職務遂行上で妨げとなる、これ以外の COI 状態は一切ありません。なお、本申告書の内容は、社会的・法的な要請があった場合は、公開することを承認します。

申告日（西暦） _____ 年 _____ 月 _____ 日

申告者署名（自署） _____ 印

受付番号： _____

*本申告書は、任期満了、あるいは委員の委嘱撤回の日から3年間保管されます。

